

すいせん



発行者 須崎協議会 文化厚生部
下田市須崎一七九番地
須崎漁民会館内
電話 0558(22)8056

題字: 梅田弥祐先生

令和3年度須崎区総会について

令和2年正月早々からコロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、デルタ株にまたオミクロン株へと変化をし、未だ収束の兆しが見えませんが、

新年度切り替えに当たり、須崎区の総会を予定してもこの2年間はコロナ感染症対策上から、館内での集会には自粛をして、書面決議での方法を取り総会の実施をいたしました。

年度末を迎えて

区長代理 森田 学 (そばや隠居)

太陽の日差しが少しずつ暖かくなり眠っていた草木の芽も膨らんできました。3月は万物が躍動を始める準備の季節であると同時に令和3年度の締めくくりでもあります。令和3年度を振り返りますと、令和3年6月「突然の区長辞任」により、協議会には区運営の引継ぎもありませんまま手探りの状態の中、毎月の定例会でその時々課題等を確認しながら、9ヶ月間、区の運営をしてきました。また、コロナ禍により、2年連続で須崎区最大の行事「津島神社例大祭」をはじめ諸行事を中止せざるを得ませんでした。第56回水仙まつりは無事開催することができました。静岡新聞2月27日付けに掲載された下田市と市観光協会のまとめの抜粋を紹介いたします。

今年度の第56回水仙まつりの来場者数は前年度比61%増の12万6千人でした。新型コロナウイルスの影響が少なかつた前年比では、27%減だった。11都道府県に緊急事態宣言が発令されていた一方、今回は塩害などもなく、開花状況が良好だったことが増加につながったようです。前年は期間中4台にとどまった大型バスの来訪も35台まで増えました。第57回水仙まつりも2022年12月20日から23日1月31日に開催予定です。

須崎財産区有地境界見廻り実施

2/11(金) 建国記念の日

議員9名は前財産区会計小川正弘氏による道案内で、財産区有地の境界見廻りの実地踏査を行いました。

一行は、上ノ山に続く旧道須崎線の一本松脇にある境界杭の確認をした。その後山中の雑木林をかき分け外浦地先までの尾根の境界確認して歩いた。山中の尾根を下りおり尾竹浜を確認し元鉢山道路を旧道に向かい上った。

次に現在整備工事中の御台場周辺の境界の確認に出向いたが、工事の関係から山中の境界杭が確認できず、整備中の展望台などを視察した。

その後は須崎小学校まで戻り学校裏の忠魂碑脇にある境界杭を確認した。

この先下田港側に面した崖上の境界は危険箇所があるため確認はしません。よって柿崎側との境界を旧道一本松に向かつて雑木林を登って終了した。

水仙まつりが終わって2/24(木)に下田市観光協会、下田市、須崎区、ほか関係者にて反省会を行なった。

期間中は数局のTV放映によるPR活動、Instagramフォトコンテストの実施ほか、下田太鼓の実演、須崎区、下田海中水族館、下田料飲組合、下田温泉組合などによる各種サービスを実施したことの報告。

来年度の実施日の確認をした。

この先下田港側に面した崖上の境界は危険箇所があるため確認はしません。よって柿崎側との境界を旧道一本松に向かつて雑木林を登って終了した。

水仙まつりが終わって2/24(木)に下田市観光協会、下田市、須崎区、ほか関係者にて反省会を行なった。

期間中は数局のTV放映によるPR活動、Instagramフォトコンテストの実施ほか、下田太鼓の実演、須崎区、下田海中水族館、下田料飲組合、下田温泉組合などによる各種サービスを実施したことの報告。

来年度の実施日の確認をした。

1月下旬からデルタ株からオミクロン株の感染拡大に移行し、未だに静岡県は千人を超える感染状況が続いています。残念なことに、下田市を含む賀茂地区内でも毎日数人の感染者の報告があります。また、現在出されている蔓延防止の延長という情報もあります。

令和3年度の須崎区総会を3月27日(日)に予定していますが、このようなコロナ感染状況の中では、昨年度に続き書面決議の形になつてしまう可能性が大きいことをご理解ください。次に2月の近況報告をします。

① 財産区有地境界見廻りについて
右の欄に書かれていた内容で財産区見廻りを2点お知らせします。見廻りをして気付いたことを外浦との境界杭付近の樹木には白いペンキの印があり境界が分かりやすかったです。

② 須崎地区交通指導員選出について
長い間交通指導員をして下さった川端元之

最後に各団体に次のことをお願いいたします。年度末になりましたので、須崎区より助成金を受けた団体(会)は、令和3年度の活動報告と決算報告を3月末日までに漁民会館に提出してください。

1月の実施行事	
2日(水)	古着回収
4日(金)	回覧日
5日(土)	カイロ健康施術会(憩の家) わらいの輪 中止
8日(火)	リサイクル分別収集
10日(木)	初午祭(両神社) 区協議会定例会
11日(金)	【建国記念の日】 財産区議員境界見廻り 回覧日
16日(水)	古着回収
18日(金)	回覧日
19日(土)	カイロ健康施術会(憩の家) リサイクル分別収集
22日(火)	【天皇誕生日】 水仙まつり反省会
23日(水)	水仙まつり反省会
24日(木)	須崎区協議会出納閉鎖
28日(月)	須崎区協議会出納閉鎖

1月の予定行事	
1日(金)	回覧日
2日(土)	カイロ健康施術会(憩の家) わらいの輪
6日(水)	古着回収
14日(火)	リサイクル分別収集
15日(水)	区協議会定例会
16日(木)	回覧日
20日(月)	カイロ健康施術会(憩の家) 古着回収
26日(日)	古着回収
29日(金)	【昭和の日】 リサイクル分別収集

1月の予定行事	
1日(金)	回覧日
2日(土)	カイロ健康施術会(憩の家) わらいの輪
6日(水)	古着回収
14日(火)	リサイクル分別収集
15日(水)	区協議会定例会
16日(木)	回覧日
20日(月)	カイロ健康施術会(憩の家) 古着回収
26日(日)	古着回収
29日(金)	【昭和の日】 リサイクル分別収集

1月の予定行事	
1日(金)	回覧日
2日(土)	カイロ健康施術会(憩の家) わらいの輪
6日(水)	古着回収
14日(火)	リサイクル分別収集
15日(水)	区協議会定例会
16日(木)	回覧日
20日(月)	カイロ健康施術会(憩の家) 古着回収
26日(日)	古着回収
29日(金)	【昭和の日】 リサイクル分別収集

12日 森登茂子さん100歳(重々)

お悔やみ申し上げます

公衆トイレに表示板の設置

2/22(火)に須崎公衆トイレ男子側の軒下に、50cm四方の男女表示板と車椅子表示板を設置しました。



須崎で見られる野鳥

丑嶋 久雄

11, ショウビタキ (尉鷓)

最近、耕運機で畑を耕していると、どこからともなくスズメよりもやや小ぶりの美しい小鳥がやってきて、じっと作業を見つめています。「ショウビタキ」です。5m位まで近付いても逃げません。地中から出てくる虫や種子を探しているようです。頭部は銀色、胸から腹部は鮮やかなオレンジ色で顔や背中、翼は光沢のある黒色、翼に白い斑点があります。普段、クモなどの昆虫を主食としています。餌の少ない冬場には、ピラカンサやヒサカキの実も好んで食べています。

時々、「キツ、キツ」とか「カツ、カツ」と地鳴きします。この音が、火打石を打ち合わせる音に似ていることから、「火焚き(ヒタキ)」の名が付いたそうです。ショウ(尉)は銀髪を意味しますが、メスは全体的に目立たない灰色がかかった褐色ですが、オス、メスともに翼に白い斑点があります。この白い斑点が着物の「紋」に似ていることから、「紋付き鳥」とも呼ばれています。「ショウビタキ」は渡り鳥で、中央アジアから南アジア、ヨーロッパに分布しており、ロシアの極東部沿海地方、バイカル湖周辺等で繁殖をしています。

日本には越冬のために飛来し、春に去っていき、繁殖期の美しい囀りを聞くことが出来ないのが残念です。

瀬戸内地方には、「スズメ」と「紋付き鳥」(ショウビタキ)の昔話があります。

「スズメ」と「紋付き鳥」は、姉妹でした。母親が危篤になった時、「スズメ」はお歯黒(歯を黒く染める化粧のこと)を塗っていましたが、知らせを聞くとすぐ中断し、母の元に向かいました。一方お洒落な「紋付き鳥」は、知らせを聞くと、化粧をしたりと、身支度に時間をかけすぎ、母の死に目にも会えませんでした。

激怒した父親に勘当された「紋付き鳥」は、今でも鳴くときに頭を下げ、父親に謝り続けているのです。「スズメ」のくちばしの一部が黒いのは、塗りかけたお歯黒が残っているからだそうです。



当たり前前の幸せのありがたみ

浜崎小学校校長 菊池 正仁

日本には水に関する言葉がたくさんあります。「湯水のように使う」という言葉は物を粗末にするたとえで使われます。日本には昔から水が豊かにあり水道から当たり前のように飲み水が出てきます。しかし、世界の多くの国では水道水は飲めません。世界の中には、一時間以上もかかって毎日水を汲みに行き、バケツに入れて運んでこなければならぬところもあります。水はとても大切なものですが、知らないうちにたくさん水を使っています。私たちが食べているコメや麦や肉を生産するのにたくさん水が必要です。牛肉は飼料や牛の飲み水を足すと1トンにつき二万六千トンもの水が必要です。ですから、ハンバーガー一個食べると水千リットル、牛丼一杯では水を二千リットル、飲むのと同じことになりま

かしかなりません。私たちの暮らす日本という、そのわずかな水を当たり前のように使えることも恵まれた国に住んでいるのです。本当にありがたいことです。しかし、今は日本だけでなく世界中で、新型コロナウイルスがまん延し、グループ学習や運動、楽器の演奏、そして学校行事、休み時間さえも、子供たちは制限された中で毎日すごしています。そんな中でも、友達や仲間を大切に、学習にも粘り強く取り組もうとしている子供たちの姿には頭が下がります。このような生活が二日も早く過去の出来事になることを願っています。私たちが、普段何気なく行っていることは「当たり前前」のことと感ずいてしまえば、そのありがたさをなかなか感じることができないものです。身の回りには「友だちがいる幸せ」「学校に通える幸せ」などたくさん幸せがあります。実は勉強をしたりスポーツをしたり一緒に話したりすることも大変な幸せなのです。このような時だからこそ、その当たり前前だと思っていた幸せについて、改めて子供たちと共にかみしめていきたいと思えます。

2/1 朝礼 (校内放送にて)



2/18 委員会活動の説明会 (6年生から4年生へ)



6年生が卒業制作で、修理した壁に奇麗に絵を描いてくれています



〜2月の学校の様子〜

500ニュース

二月の捕獲情報

4日(金)は鼠 1頭 20匹メス
ごんた横の奥側にて
8日(火)括り鼠 1頭 60匹オス
旧道一本松付近にて

ご意見募集

市、区などへのご意見、ご要望
ご提言、ご質問

身近な話題

「わが家の自慢」何でも結構です
お寄せ下さい。

須崎協議会事務所